

## 2 目標達成計画

作成日: 平成 24 年 4 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	看護師が常駐してしておらず、吸引器、酸素も無い。利用者が急変した際の医療行為を行える設備が整っていないのが現状。急変時には医療にバトンタッチするしかない。	①急変時に備え、常に医療機関との関係を維持しスムーズに医療に移行できる。 ②必要であれば訪問診療を相談し活用する。	定期的受診を継続し、医師や看護師への協力を依頼する。職員間でも、急変時の対応について改めて認識しあい今後どのような場合でも全職員が的確に対応できるようにしたい。	随時
2	13	仮設での運営になってから、避難訓練は実施しているものの避難場所や避難経路を職員が把握出来ていない。又、同敷地内の住民との協力体制が確立されていない。	①火災や夜間の地震を想定とした避難訓練を実施し、最小限の人数でいかに短時間で避難出来るか訓練を年に数回実施する。 ②同敷地内住民との協力体制を確立する。	①ミーティングや避難訓練にて全職員が避難経路を把握し、実際に災害が起きた時に備えて迅速かつ的確に人命を救助出来るように職員間での意識を統一していきたい。 ②運営会議に自治会長、区長を招聘し、災害時の協力体制構築、訓練に参加してもらう。	①5月上旬 ②8月中旬
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。